

令和3年度

つやま元気大賞表彰式を開催しました！

津山市の学校や地域を元気にする活動や社会や誰かのために進んで貢献する活動などを広く讃える令和3年度「つやま元気大賞」表彰式を行いました。

個人の部では5名の推薦、団体の部では16団体の推薦があり、10月15日に選考委員会を開催し、「大賞」「優秀賞」が決定しました。

令和3年11月1日(月) おかやま教育の日 於:市役所東庁舎

大賞〈個人の部〉 喬松小学校5年 河島玖愛 河本祐希

4年生のときに道徳の授業で、「自分が正しいと思ったことをやり通す」という学習をし、半年以上経った今でも、登校中に自主的にゴミを拾っており、学んだことを自分たちの身近な問題として素直にとらえ、継続して取り組んでいることが高く評価されました。

大賞〈団体の部〉 高野小学校

平成9年度より25年間にわたり、慢性的な飢餓に苦しむアジアやアフリカの国に、自分たちで作った支援米を贈る活動を続けており、子どもたちの自主性が高まり、他国への思いやりの心が育つ活動を学校だけでなく、地域ともいっしょになって取り組んでいることが高く評価されました。

大賞〈団体の部〉 高田神社横野獅子舞保存会

岡山県重要無形民俗文化財に指定されている「高田神社の獅子舞」を20年以上前から、毎年、高田神社横野獅子舞保存会が獅子舞の動きや笛・太鼓の演奏等について高田小学校児童に伝承を続けており、地域の伝統文化を地元の子どもたちにつないでいることが高く評価されました。



おめでとうございます！

優秀賞〈個人の部〉

青瀬 和音(南小学校4年)

木元 繁

佐藤 駿(成名小学校6年)

優秀賞〈団体の部〉

城西まちづくり協議会

津山要約筆記サークル

津山市立秀実小学校PTA

津山市立成名小学校6年生児童14人

津山市立鶴山小学校OYAJIの会

津山市立佐良山小学校運営委員会

津山市立中道中学校生徒会本部役員

西小のびのび児童クラブ

津山市立津山東中学校美術部

野村元気会

夏休み田邑わくわく教室

津山市立中正小学校児童会

津山市立高田小学校全校児童100名

津山市立河辺小学校運営委員会



令和3年度 つやま元気大賞優秀賞活動紹介①

優秀賞〈個人の部〉

青瀬 和音（津山市立南小学校4年）

津山を拠点にモデル活動やウォーキングショーなどに出演しています。様々なコンテストへの挑戦や最近では映画やCMなどのオーディションにも参加しています。

木元 繁

風の子こども園では0～5歳の子どもが、年齢に応じた参加の仕方です。自分たちで四季の野菜作りを体験し、野菜たちの生長を見守ったり世話をしたり収穫したり味わったりと、食に関する興味や関心を高めています。この野菜づくりをする中で、何人かの地域の方にお世話になっており、そのうちのお一人が”木元のおいしいちゃん”です。木元さんは園の畑を耕し、苗を作り、子ども達に植え方と育て方を教えてください。

佐藤 駿（津山市立成小小学校6年）

コロナ禍だからこそできた学び！見てください。この自主学習ノート！！

小学校最後の夏休み、昨年に引き続き、今年もまた、大好きな鉄道旅や夏の行事参加はあきらめなければなりません。それでも、コロナ禍だからこそできる学びを工夫して、小学校最後の夏休みを過ごした駿くん。その様子を自主学習ノートにまとめました。

優秀賞〈団体の部〉

城西まちづくり協議会

昨年度より、三世代みんなで西小学校区の城西公園をきれいにする活動を続けています。きれいで心地よい公園になり、地域みんなの憩いの場になっています。昨年の秋にスタートし、現在3回の掃除を実施しています。参加者には、まちの駅で使える地域通貨「テラ」を差し上げています。地域を活性化し三世代の交流もできています。

西小のびのび児童クラブ

西小学校の近くには徳守神社（宮脇町）があり、多くの児童は毎年夏の納涼祭や秋のお祭りを楽しみにしています。西小のびのび児童クラブの児童は、子どもでもできることをして役に立ちたいとの思いから、毎月（第1土曜日午前中）徳守神社に行き、掃き掃除、草取りなどの清掃活動を行っています。この夏も、3密を避け、熱中症対策をしながら元気に活動を続けております。

津山要約筆記サークル

昭和60年12月に設立され、長年にわたり聴覚障がい者（主に難聴者）への要約筆記による情報保障の活動に取り組まれています。また、情報保障を行うことで、聴覚障がい者の社会参加の促進や生きがい・楽しみづくり等に貢献されています。その取組は多くの聴覚障がい者の方の支援につながっていると同時に津山市における障害福祉の向上にも貢献されています。

津山市立津山東中学校美術部

本年度の夏休み、津山東中学校美術部員が地域の小学生に絵画の描き方のコツをアドバイスし、宿題を完成させる取組を行いました。これは部員が主体的に特技を活用して小学生と交流を深めた活動であり、同時に、小学生に美術を好きになるきっかけを与える活動でもあります。今秋には、部活動で作製した作品を津山東公民館に展示すべく、現在、作品づくりに情熱を注いでいますが、作品展示により地域住民との交流が始まり、絵画を通したまちづくりにつながることが期待されます。



令和3年度 つやま元気大賞優秀賞活動紹介②



優秀賞〈団体の部〉

津山市立秀実小学校PTA

令和2年度PTA講演会で「メディアコントロール」「親子で話をする時間」の大切さについて講演がありました。それをきっかけに、PTAで「親子でちょっといっしょに取り組む活動を始めよう」ということになり、本年度5月から、PTA家庭教育推進部を中心に、「メディアコントロール」と合わせて、「親子プリント（通称：親子プリ）」の取組を始めることになりました。

夏休みには、親子プリで「親子で地域ミニボランティア」を保護者の方にお願ひしました。9月に提出された親子プリには、親子で「地域ミニボランティア」の活動名を考え、夏休み中に地域に飛び出して、道路のカーブミラーをきれいにしたり、道ばたの看板を修理したり、地域の集会所の草取りをしたりするなど、それぞれの家庭で親と子が笑顔で取り組んでいる様子が書かれた親子プリが、約50家庭（72家庭中）から集まりました。

小学校のホームページにその一部を紹介したり、参観日の時にはすべてのプリントを廊下に掲示したりして、さらにPTA活動、学校と保護者・地域が連携して、地域の子どもたちをよりよく育てようという意識を育てていきたいと考えています。

野村元気会

高齢者の男女が週に1回水曜日を定例して10：00～12：00までの2時間、「こけない体操」をされています。ご高齢といっても皆さん本当にお元気で熱心に活動されておられます。

津山市立成名小学校6年生児童14人

成名小学校では、「あたりまえのことがあたりまえにできるようにしよう」という意識を持って、日々生活しています。①あいさつをする ②ろうかをは右側を静かに歩く ③話を聞く ④時間を守る ⑤時間いっぱいそうじをする ⑥正しいことばづかいをする ⑦はきものをそろえる ⑧服装を整える ⑨持ち物を整える の9個をずっとがんばっています。

6年生児童14人は、いつも全校のみんなのお手本になって「あたりまえのことをあたりまえに」しています。特に、④時間を守る姿がすばらしく、時計を見て動けます。授業が始まる3分前に教室に入り、1分前に着席して、チャイムが鳴るのを待ちます。声をかけ合わなくても、一人が遊びをやめると、その気配でみんなも遊びをやめ、すすすっと着席する様子が実に見事です。

夏休み田邑わくわく教室

平成23年度から始まった「夏休み田邑わくわく教室」は今年で9回目。田邑公民館を会場に夏休みの勉強会を私達元教職員や田邑地区のボランティアの協力を得て朝の涼しい時間に行っています。子どもたちは夏休みの友、絵日記、プリント、ドリル等をがんばっています。昨年はコロナ感染予防のため、唯一休止でしたが、今年は学習している子どもたちの真剣な顔と楽しそうな笑顔のどちらも見るのができてうれしかったです。地域の方を講師に英語のミニ講座も毎日15分程度続けられ、簡単な自己紹介がきえるようになってきました。最終日は工作教室もあり、今年度は鉛筆立てや椅子の木工作品です。

特筆すべきは、この教室を卒業した中学生の学習ボランティアが続いてきていたことです。今年はコロナ禍で、参加を見送った中学生もいたようですが、今年この教室で学んでいる6年生たちが、来年度中学生になってからのボランティアを志願してくれています。

そして、地域の方々が、がんばった子どもたちに、コロナ禍前まではカレーを、今年はノートやお菓子のおみやげをくださり、励ましてくださっています。向陽小学校の先生方もプリント集や辞書などを貸して下さったり、訪問して支援して下さったりしています。

「わかった。」「また、来てな。」の子どもたちの声に、ボランティアも心動かされています。田邑公民館長の高畑益巳さんを中心とした地域のボランティアの方々と運営されているこのわくわく教室は子どもたちの自立を助け、健全な成長と学力保障を後押ししています。

令和3年度 つやま元気大賞優秀賞活動紹介③

優秀賞〈団体の部〉

津山市立鶴山小学校OYAJIの会

お互いに親睦を深めながら、子育てや学校に少しでも役立てばと思って活動をしています。主な活動は、毎月10日の小学校校門でのあいさつ運動への参加、奉仕作業への協力、ふれあい祭りへの出店、林田小、津山東中OYAJIの会との親睦行事の実施、総会・懇親会の実施です。

特に、令和2年度のPTAの奉仕作業は、新型コロナウイルス感染防止対策のためやむなく中止となりました。しかし、学校としても保護者をお願いしなくてはならない作業があり、おやじの会に相談したところ、快く作業を引き受けて下さいました。当日は感染症対策を行った上で20人程度が集まり、草刈りを始め多くの清掃作業を実施していただきました。

また、例年開催しているふれあい祭りにも参加してくださり、子どもたちや地域の皆さんに元気を与えています。

津山市立中正小学校児童会

中正小学校では毎年、全校児童が、春の遠足(ウォークラリー)の中で地域貢献活動に取り組んでいます。日頃からお世話になっている地域へ恩返しがしたいと、地域の清掃活動を行ってくれます。子どもたちが地域に出るの活動は、地域に元気と活力を与えてくれます。今年も、たくさんのごみを拾い、地域に貢献してくれました。

津山市立佐良山小学校運営委員会

令和3年度運営委員会は、新たな取組として「いい子パトロール」「いじめについて考える動画」「制服チェック大作戦」の三つの活動を実施しました。

「いい子パトロール」は、6月7日～6月13日までの20分休みと昼休みに行き、よい行いをしている人は、次の日のお昼の放送で紹介しました。友だちを助けていたとか下級生に優しくしていたなどの紹介がありました。児童の自己肯定感を高める活動となりました。

「いじめについて考える動画」では、運営委員会がいじめについて考えやすい動画を作成し、各クラスで動画を見て、感想を書く取組をしました。クラスでいじめについて考えることで、いじめをなくす機運が高まりました。

「服装チェック大作戦」は、7月8日～7月14日の間で、運営委員会が服装のポイント(上着の襟、ポロシャツのボタン、スカート掛け)を点検し、できている人数を%で表し、割合の高かったクラスを表彰しました。服装を整えることをクラス全体で考えることができ、学級の一体感が生まれました。

津山市立高田小学校全校児童100名

生徒会活動に率先して取り組み、週1回の校舎周辺のゴミ拾いや週2回のあいさつ運動を行い、環境整備やあいさつを広げる運動に積極的に取り組みました。また、生徒の意見を取りあげ、コロナ禍の黙食の給食中を有効に活用するため、音楽を流したり、専門委員会の活動の紹介やメッセージを流す活動に取り組みました。

1学期には、SNSの正しい活用を啓発するために、「SNSについて考える生徒の手による授業」を企画・実施しました。自分たちで適切な動画を探した後、各クラスの学年委員を集めて授業の進め方を説明し、各クラスで授業を行いました。あわせて、家庭学習の「チャレンジシート」を手作りで作成し、一人ひとりが目標を設定して家庭学習に取り組めるよう工夫した活動を行いました。また、全校生徒の「チャレンジシート」を集計し、生徒会新聞で、生徒や家庭に啓発も行いました。

こうした取組により、生徒自らの力で、様々な取組を行う機運を大いに盛り上げてくれました。

令和3年度 つやま元気大賞優秀賞活動紹介④

津山市立中道中学校生徒会本部役員

生徒会活動に率先して取り組み、週1回の校舎周辺のゴミ拾いや週2回のあいさつ運動を行い、環境整備やあいさつを広げる運動に積極的に取り組みました。また、生徒の意見を取りあげ、コロナ禍の黙食の給食中を有効に活用するため、音楽を流したり、専門委員会の活動の紹介やメッセージを流す活動に取り組みました。

1学期には、SNSの正しい活用を啓発するために、「SNSについて考える生徒の手による授業」を企画・実施しました。自分たちで適切な動画を探した後、各クラスの学年委員を集めて授業の進め方を説明し、各クラスで授業を行いました。あわせて、家庭学習の「チャレンジシート」を手作りで作成し、一人ひとりが目標を設定して家庭学習に取り組めるよう工夫した活動を行いました。また、全校生徒の「チャレンジシート」を集計し、生徒会新聞で、生徒や家庭に啓発も行いました。

こうした取組により、生徒自らの力で、様々な取組を行う機運を大いに盛り上げてくれました。

津山市立河辺小学校運営委員会

河辺小学校は、6年生の運営委員を中心に、良い取り組みを増やしていこうと、毎年2学期後半に「いいねの木」の取り組みを進めています。これは、あいさつや、そうじ、給食など、よく頑張ったらカードがもらえ、それを教室の台紙に張り合わせて、最後は全クラスの台紙をつなげて、一本の大きな「いいねの木」にするという取り組みです。昨年度はこの運動を展開することで、学校全体に活気が出て、大きく前進できたと実感していました。

今年度の運営委員は、「あいさつ」を広げようと1学期から取り組んでいます。1学期は、元気な声であいさつする人を、お昼の放送で紹介する取り組みで、あいさつを増やしました。2学期は、あいさつのレベルアップを目指し、「立ち止まって、相手の目を見て、大きな声であいさつする」することをめあてにして、「あいさつの木」の取り組みを、9月に始めています。あいさつすることで、仲良しの輪を広げようと、毎朝運営委員が交代で全校児童を迎え、めあてのように良いあいさつができた児童にカードを配り、それを教室の台紙に張り、台紙をつなげて大きな「あいさつの木」にしようと取り組んでいます。おかげで、あいさつの声がぐんぐん増えています。

この運営委員を選出している6年生が、クラスでしっかり話し合って、学校をリードするメンバーを、責任を持って選んでいることも大きいです。従って、必然的に協力的な支援を行ってくれています。そうした、6年生が河辺小学校のリーダーとして、表や裏で活躍することで、学校が良い方向へ動いています。ここ数年、落ち着かない状態であった学校を、好転させた大きな原動力です。

なお、「あいさつ運動」には、地域の方からの応援があり、横断幕や幟を寄贈していただきました。今後PTAとも連携して、「毎月のあいさつデー（仮）」を設定し、あいさつでつながる地域を目指して取り組んでいくところです。

(問い合わせ) 津山市教育委員会 学校教育課 〒708-8501 津山市山北520

TEL. 0868-32-2114 FAX 0868-32-2157 E-mail gakkyou@city.tsuyama.lg.jp